

お知らせ 2021年



2021年12月2日

プレミアグループ株式会社

【プレミアグループが取り組む DX 推進】

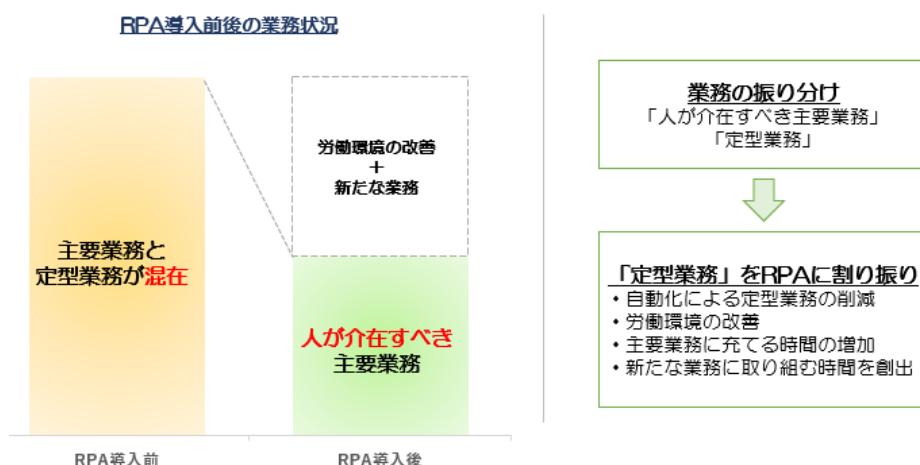
顧客管理部門の RPA 導入で、年間 120 日分の工数を削減

～自動化による業務改善で働き方改革と生産性向上を実現～

オートモビリティ企業であるプレミアグループ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：柴田洋一、以下「当社」）の100%子会社であるプレミア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：柴田洋一、以下「プレミア」）は、顧客管理部門における定型業務を自動化するため、RPA（Robotic Process Automation）¹を導入し、年間約120日分の工数削減を実現しました。これにより人が介在すべき業務に人員を集中して割くことが可能となり、働き方改革を実行すると共に、生産性の向上を実現させています。

RPAは、人が日常的に行う定型業務の処理手順をシステムに登録して自動化することで、業務効率化が図れる技術です。

プレミアの顧客管理部門では、書類発行等を手作業で行っており、事務的な定型業務に多くの人員を必要としていました。さらに、クレジット取扱件数の拡大に伴う業務量の増加により、従業員の業務時間が圧迫される事態が続いていました。そこで、プレミアは、自動化の可能な定型業務と人の手が必要な主要業務を振り分け、2019年に本格導入したRPAによって定型業務などのルーティンワークを自動化してまいりました。これにより、業務効率化や人為的ミスの減少が進み、RPA導入の成果を試算した結果、年間約120日分の工数を削減できたことが判りました。さらに、これまで手の回っていたなかった、人が介在すべき新たな業務への取り組みや社員育成、マネジメントなどに充てる時間が確保でき、社内環境の改善にも寄与させることができました。



¹ これまで人間のみが対応可能と想定されていた作業、もしくはより高度な作業を、人間に代わって実施できるルールエンジンやAI、機械学習等を含む認知技術を活用して代行・代替する取り組み

お知らせ 2021年



今後は、本システムを審査部門や債権回収部門、営業サポート部門など、当社グループのバックオフィス部門にもRPAを積極的に導入し、さらに年間約160日分の作業工数削減が実現できる見込みです。社内業務の生産性を向上させることによって、引き続き加盟店様及びお客様に利便性の高いサービスを安定的に提供してまいります。

当社グループはオートモビリティ企業グループとして、最高のファイナンスとサービスをお客様に提供すべく、今後も事業拡大を図り、更なる成長を目指してまいります。

会社情報

【プレミアグループについて】

プレミアグループは、「オートモビリティ企業グループ」です。

私たちは、仕入れ、購入、利用、整備、買取りをはじめとする「クルマ」に関する様々な行程において、個人のお客様や自動車販売店・自動車整備工場の皆様に先進的なソリューションを提供してまいります。

2018年12月に東証一部に上場し、現在では、国内・海外合わせて15社以上のグループ体制で、ASEAN諸国を中心とした海外でも事業を展開しています。

〈会社概要〉

社 名：プレミア株式会社

代 表 者：代表取締役社長 柴田洋一

所 在 地：東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー19階

設 立：2007年7月

資 本 金：1,515百万円（単体/2021年3月末現在）

事業内容：ファイナンス事業を運営する企業グループの統括、オートクレジットを中心としたファイナンス事業及び各種サービスの提供

U R L：<http://p-fs.co.jp/>

社 名：プレミアグループ株式会社（持株会社）

上場市場：東京証券取引所市場第一部（証券コード：7199）

代 表 者：代表取締役社長 柴田洋一

所 在 地：東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー19階

設 立：2015年5月（グループ創業は2007年7月）

資 本 金：1,662百万円（単体/2021年9月末現在）

事業内容：株式等の保有を通じた企業グループの統括・運営等

U R L：<https://www.premium-group.co.jp/>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

プレミアグループ株式会社

コーポレート本部 広報・IR部

Mail：ml-koho-ir@premium-group.co.jp